



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日
東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 晶子 (TEL) 06-6203-1407
四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	89,743	0.1	8,694	△3.7	9,551	0.6	5,756	19.7
26年3月期第1四半期	89,622	0.6	9,028	△17.1	9,491	△17.4	4,809	△15.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,506百万円(△90.5%) 26年3月期第1四半期 15,848百万円(1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	14.49	—
26年3月期第1四半期	12.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	638,383	396,144	62.1
26年3月期	659,032	398,540	60.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 396,144百万円 26年3月期 398,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	178,000	△1.9	12,000	△31.2	11,500	△33.9	11,000	26.5	27.69
通期	352,000	△9.2	20,000	△52.5	19,000	△53.2	12,000	△40.2	30.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	397,900,154株	26年3月期	397,900,154株
27年3月期1Q	594,137株	26年3月期	593,962株
27年3月期1Q	397,306,033株	26年3月期1Q	397,309,233株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成26年7月30日(水)に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールで配布する資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントでは薬価改定や後発品の影響を大きく受けた結果、前年同期に比べ減収となりましたが、北米セグメントでは非定型抗精神病薬「ラツダ」が順調に販売を拡大しており、中国セグメントではカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」を中心に増収となった結果、前年同期と同水準の897億43百万円（前年同期比0.1%増）となりました。販売費及び一般管理費では、北米セグメントを中心に販売関係費用等が増加しました。また、研究開発費が増加しました結果、営業利益は86億94百万円（同3.7%減）となりました。なお、営業外損益および特別損益の改善により、経常利益は95億51百万円（同0.6%増）、四半期純利益は57億56百万円（同19.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

高血圧症治療剤「アイミクス」およびパーキンソン病治療剤「トレリーフ」の戦略製品2剤の売上は順調に拡大しましたが、薬価改定や後発品使用促進策の浸透による既存品の売上減少の影響等を補うには至らず、売上高は374億90百万円（同11.7%減）となりました。セグメント利益は、経費の効率的使用に努めましたが、売上高減少の影響が大きく118億80百万円（同25.1%減）となりました。

② 北米

本年4月に独占販売期間の終了を迎えた催眠鎮静剤「ルネスタ」の売上高が大きく減少しましたが、「ラツダ」のさらなる売上拡大や本年4月に新発売した抗てんかん剤「アプティオム」の早期立ち上げに注力した結果、売上高は356億36百万円（同11.9%増）となりました。セグメント利益は、「ラツダ」の売上拡大に伴い広告宣伝費等が増加した一方で、「ルネスタ」にかかる特許権の償却終了による減価償却費の減少があり、88億93百万円（同58.7%増）となりました。

③ 中国

「メロペン」の販売が引き続き大きく拡大しており、売上高は42億22百万円（同76.4%増）、セグメント利益は20億35百万円（同425.3%増）と大幅な増益となりました。

④ 海外その他

「メロペン」の輸出減少の影響が大きく、売上高は24億51百万円（同3.2%減）、セグメント利益は5億4百万円（同50.2%減）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は99億43百万円（同4.3%減）、セグメント利益は5億98百万円（同29.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、受取手形及び売掛金や短期貸付金が減少しました。また、減価償却の実施や為替換算の影響により無形固定資産が減少した結果、総資産は前期末に比べ206億48百万円減少し、6,383億83百万円となりました。

負債については、前期にかかる法人税等の支払いにより未払法人税等が減少したことに加え、未払金や長期借入金等が減少した結果、前期末に比べ182億52百万円減少し、2,422億39百万円となりました。

純資産については、利益剰余金は増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したこと等により、前期末に比べ23億96百万円減少し、3,961億44百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内での長期収載品の売上は期初予想より減少する見込みですが、北米での「ラツダ」の売上が好調に推移しており、売上高は期初公表予想どおり3,520億円の見通しであります。

品目構成の変化により売上原価は減少することから、売上総利益は期初公表予想を上回る見通しですが、「ラツダ」の販売経費の増加等により営業利益は200億円、経常利益は190億円と期初公表予想どおりを見込んでおります。

当期純利益についても期初公表予想の120億円から変更ありませんが、第3四半期以降に予定しておりました遊休資産の整理に伴う特別利益の計上が、第2四半期での発生となる見通しになったため、第2四半期連結累計期間の四半期純利益は47億円増の110億円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が245百万円減少し、退職給付に係る負債が62百万円増加し、利益剰余金が198百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,746	26,333
受取手形及び売掛金	111,662	97,599
有価証券	81,952	81,742
商品及び製品	46,377	46,253
仕掛品	2,408	2,373
原材料及び貯蔵品	10,356	12,369
繰延税金資産	37,281	35,036
短期貸付金	41,720	35,472
その他	5,225	6,380
貸倒引当金	△120	△110
流動資産合計	359,611	343,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,804	101,086
減価償却累計額及び減損損失累計額	△56,396	△56,943
建物及び構築物（純額）	44,407	44,143
機械装置及び運搬具	77,479	77,694
減価償却累計額及び減損損失累計額	△67,833	△68,337
機械装置及び運搬具（純額）	9,646	9,357
土地	8,396	8,386
建設仮勘定	3,080	2,748
その他	32,271	32,583
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,113	△25,430
その他（純額）	7,157	7,153
有形固定資産合計	72,689	71,789
無形固定資産		
のれん	80,669	78,202
仕掛研究開発	56,071	54,929
その他	20,055	18,871
無形固定資産合計	156,796	152,003
投資その他の資産		
投資有価証券	50,823	51,269
退職給付に係る資産	4,685	4,764
繰延税金資産	8,602	7,230
その他	5,865	7,912
貸倒引当金	△41	△36
投資その他の資産合計	69,935	71,139
固定資産合計	299,421	294,932
資産合計	659,032	638,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,713	12,768
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,118
未払法人税等	10,524	3,217
賞与引当金	7,786	4,431
返品調整引当金	9,894	8,205
売上割戻引当金	26,421	25,042
未払金	35,937	27,714
その他	18,930	24,146
流動負債合計	131,207	115,646
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	25,000	22,678
繰延税金負債	15,704	14,785
退職給付に係る負債	13,892	14,252
その他	14,687	14,876
固定負債合計	129,284	126,593
負債合計	260,492	242,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	318,861	320,716
自己株式	△656	△657
株主資本合計	356,465	358,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,247	16,768
繰延ヘッジ損益	△0	△7
為替換算調整勘定	26,792	22,946
退職給付に係る調整累計額	△1,964	△1,882
その他の包括利益累計額合計	42,074	37,824
純資産合計	398,540	396,144
負債純資産合計	659,032	638,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	89,622	89,743
売上原価	25,270	24,085
売上総利益	64,352	65,657
返品調整引当金戻入額	13	5
差引売上総利益	64,365	65,662
販売費及び一般管理費		
給料	8,969	8,922
賞与引当金繰入額	2,510	2,982
退職給付費用	1,211	1,057
研究開発費	14,687	15,214
その他	27,957	28,790
販売費及び一般管理費合計	55,337	56,967
営業利益	9,028	8,694
営業外収益		
受取利息	84	89
受取配当金	399	816
その他	439	414
営業外収益合計	924	1,320
営業外費用		
支払利息	254	233
寄付金	157	93
その他	49	138
営業外費用合計	461	464
経常利益	9,491	9,551
特別利益		
受取損害賠償金	—	1,711
特別利益合計	—	1,711
特別損失		
事業構造改善費用	605	127
減損損失	395	—
特別損失合計	1,000	127
税金等調整前四半期純利益	8,490	11,134
法人税等	3,681	5,378
少数株主損益調整前四半期純利益	4,809	5,756
四半期純利益	4,809	5,756

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,809	5,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	619	△478
繰延ヘッジ損益	—	△6
為替換算調整勘定	10,420	△3,845
退職給付に係る調整額	—	81
その他の包括利益合計	11,039	△4,249
四半期包括利益	15,848	1,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,848	1,506
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,446	31,860	2,393	2,531	79,232	10,390	89,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	—	—	—	38	20	59
計	42,485	31,860	2,393	2,531	79,271	10,411	89,682
セグメント利益	15,857	5,602	387	1,012	22,860	844	23,704

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,860
「その他」の区分の利益	844
研究開発費(注)	△14,687
セグメント間取引消去	11
四半期連結損益計算書の営業利益	9,028

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した有形固定資産について回収可能性を評価し、395百万円を減損損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、ボストン・バイオメディカル・インクの買収に関して条件付取得対価の追加支払が発生したことにより、のれんが2,408百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,490	35,636	4,222	2,451	79,800	9,943	89,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	15	15
計	37,490	35,636	4,222	2,451	79,800	9,958	89,758
セグメント利益	11,880	8,893	2,035	504	23,313	598	23,911

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,313
「その他」の区分の利益	598
研究開発費(注)	△15,214
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	8,694

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。